

- **放送日** 9月24日(火)、10月1日(火)
- **テーマ** 「諏訪湖の日」について
- **出演者** 諏訪地域振興局企画振興課 課長補佐 伊東笑子

○ **聞き手とのやり取り(概要)**

Q 諏訪湖の周りでの、ウォーキングやジョギングが楽しい時期になりましたが、10月1日が「諏訪湖の日」と制定されたそうですね。

A はい。昨年3月に、県諏訪地域振興局が策定した、諏訪湖の水質や生態系の保全と、まちづくりを一体的に進める総合的な計画である「諏訪湖創生ビジョン」の中に、住民の方からのご意見をもとに「諏訪湖の日」の制定の検討を盛り込んだことから、推進主体の諏訪湖創生ビジョン推進会議では、昨年ワーキンググループを立ち上げ、制定について検討を進めてきました。

背景としては、諏訪湖の水質が改善傾向に向かうにつれ、住民の方々の諏訪湖に対する関心が低下しているのではないかという心配があり、私たちの宝である諏訪湖を守り、未来へ残していくために、より多くの方に諏訪湖への関心を持ち、関わってもらえるような仕組みが必要ではないかという問題意識がありました。

Q なるほど、そのような背景があったのですね。ワーキンググループではどのような議論がされたのですか。

A ワーキンググループでは「そもそも諏訪湖の日の制定が必要なのか」という点から議論を始めました。その中で、諏訪湖の環境を改善し、後世に残していくためには、特定の人だけの努力だけでなく、諏訪湖周、さらには茅野市、富士見町、原村などの上流域を含めた多くの方に、諏訪湖に関心を持ってもらう必要があるといった意見が出され、そのきっかけとして「諏訪湖の日」を制定することとして、諏訪湖創生ビジョン推進会議で決定しました。

期日は、今からちょうど40年前、諏訪湖流域下水道の一部供用が開始され、諏訪湖浄化に向けて第一歩を踏み出した記念すべき日であることから、10月1日とすることとしました。

Q なるほど、10月1日にはそんな歴史があったんですね。まさに今、気候的にも諏訪湖に親しむには、ちょうどよい時期ですね。「諏訪湖の日」に関して、どのような取組を行うのですか。

A はい、10月1日の「諏訪湖の日」を挟み、その前後の概ね9月から10月を取

組期間として、その間の「諏訪湖に感謝し、将来にわたり守り、活かしていく」ための取組を「諏訪湖の日関連イベント」として集中的に発信することとしています。

その一つとして、先日9月23日には、諏訪市出身のピアニスト、佐田詠夢さんをお迎えして、制定記念キックオフイベントを開催しました。「諏訪湖の日」宣言や、ミニコンサートなどが行われ、多くの皆さんが、諏訪湖を考え、楽しむ時間となりました。

また、今後予定されているイベントとしては、10月5日の土曜日に、諏訪湖のごみを拾いながら、ごみの内容を調査する「諏訪湖まるまるごみ調査」という取組や、10月14日(月曜日・祝日)には下諏訪町の赤砂崎公園で「あかすな みずべ てらす In autumn」として、芴冴市、自転車教室、各種ｽｰｯ体験、飲食ﾌﾞｰｽなど盛りだくさんのイベントも開催されます。

また、10月20日の日曜日には、湖周の3市町村の一斉清掃や、茅野市のゆいわーく茅野で、湖と森、里、川、そして人のつながりを考える講演会なども予定されています。

もちろん、イベントに参加するだけではなく、思い思いに湖畔でのんびりしたり、諏訪湖に関する本を読んだりしても楽しいですね。

Q わかりました。私たちの諏訪湖を後世に残していくため、みんなで「諏訪湖の日」を盛り上げていきたいですね。諏訪湖の日関連イベントの詳細や申込みはどのようにしたらよいでしょうか。

A 詳しくは、県諏訪地域振興局企画振興課、電話57-2901（繰り返す）にお問い合わせいただくか、諏訪地域振興局のホームページに「諏訪湖の日」に関するページを設けておりますので、そちらをご覧ください。「10月1日は諏訪湖の日」と検索していただいても結構です。この期間に、ぜひ私たちの宝である諏訪湖を見つめなおすとともに、諏訪湖に親しんでいただきたいと思います。